

薬 剤 名 ○ 種類名 ● 商品名	委 託 者 名	剤型・有効成分 および 含 有 率	新継の別 前回判定	試験実施場所 (数)	試験のねらい：処理方法 ・ 処理時期・散布薬量等	今回 判定	判定理由・内容・ そ の 他
1. GT液剤 (つづき)		モルホリン …… 1.12%					
2. キクノ－ ○ _____ ● キクノ－	三 和 産 業	乳剤 パラフィン ……… 24%	新	茶業試験場， 埼玉茶試，長 野南信地方試， (3)	茶樹の寒干害防止；1～2 月にわたり，10，20 倍 液を2回，毎回 200 ～ 300L／10a 散布，	継	試験年次不足．

昭和53年度水稲作関係 除 草 剤 試 験 成 績 概 要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和53年度水稲作関係委託除草剤試験成績中央検討会は，昭和53年12月12日より4日間，日本都市センター（東京）において開催した。その結果をここに報告する。

1. 検討課題別概要

1). 背負式動力散布機利用による水田除草剤散布試験は，5薬剤を用いて5場所で実施し，12月12日に試験結果の報告並びに検討を行った。その結果は，前年度に比べ，除草効果も大きく，実用性は高まっている。さらに確実な技術とするために，散布機の構造，製剤両面での検討が必要である。

2). 強還元田における除草剤の安全使用に関する問題については，昭和53年度は3年継続試験計画の1年目として，水田初期処理剤を中心とした10薬剤につき，全国6場所で試験を開始し，12月13日に初年目の結果報告及び検討を行った。2～3の薬剤に多少の影響があったようにみられたが，イネワラすき込みは初年目であり，還

元状態も水稲の生育を阻害する程度も軽度であり，はっきりした結果は得られなかった。さらに土壌との関係，耕種法との関係なども明確にし，この問題を明らかにすべきである。

3). 転換畑用除草剤の検討については，10薬剤につき8場所でのべ66点の試験を実施した。その結果，5薬剤はど有効なものが認められた。ただ，本年は旱天が続いたため，除草効果も高く，また畑地に近い雑草の発生もあり，イネ科雑草の多発生条件で，さらに検討する必要があると思われる。転作の年数経過と共に，一般的には畑状態に近づくと思われるので，転作1年目，2年目との区別を考えた試験が今後必要と思われる。なお，その結果は，本号11頁に「昭和53年度転作（大豆）関係除草剤試験成績の概要」として掲載されているので参照されたい。

4). 第1次適用性試験成績の検討。昭和53年度第1次適用性試験は，20薬剤につきのべ89点の試験が実施された。試験場所は従来の7地域で，このうち北陸地域は新たに新潟農業試験場

で試験が実施された。その判定結果は、第1表の通りである。

播栽培用12点、畦畔雑草管理用33点、耕起前雑草防除用8点、休耕田管理用11点であった。

5). 第2次適用性試験成績の検討。本年度の適用性試験の総点数は751点で、全国の道府県75場所で試験が実施された。その内訳は、稚苗移植栽培用681点、湛水直播栽培用6点、乾田直

2. 判定結果の概要および使用基準

1). 第1次適用性試験。本年度供試薬剤の判定結果は、第1表の通りである。

第1表 昭和53年度 水稻関係除草剤第1次適用性試験成績判定結果一覧表

No	薬 剤 名	剤型	有効成分および含有率	試 験 場 所	判 定
1.	ANK-553	乳	N-(1-エチルプロピル) 3,4-ジメチル2,6-ジニ トロベンゼンアミン 30%	北海道、関東、 近中。	□ 一年生、マツバイ、ヘラオモダカ。 植代直 後
2.	YH-406	粒	未 公 開 A 8% B 10%	東北、関東、近 中、九州。	□ 一年生、マツバイ、ホタルイ、ウ リカワ、ヘラオモダカ、ミズガヤ ツリ、オモダカ。
3.	NRC-036	乳	未 公 開 6%	東北、関東、近 中、九州。	□ 一年生、マツバイ、ホタルイ、ヘ ラオモダカ。 植代直 後
4.	Dpx-4432	粒	未 公 開 0.5%	北海道、東北、 北陸、近中、四 国。	○ 一年生、マツバイ、ホタルイ、ヘ ラオモダカ、(薬害も軽減)。 ④~B
5.	Dpx-4432	乳	未 公 開 3%	北海道、東北、 北陸、近中、四 国。	○ 一年生、マツバイ、ホタルイ、ヘ ラオモダカ。 植代直 前直後
6.	KD-78	粒	未 公 開 A 0.15% B 7.00%	北海道、東北、 北陸、近中、四 国。	○ 一年生、マツバイ、ホタルイ、ヘ ラオモダカ、ミズガヤツリ。 A~C
7.	MUH-254M	粒	未 公 開 A 4% B 8%	北海道、東北、 関東。	△ 一年生、マツバイ、ホタルイ、ヘ ラオモダカ、ミズガヤツリ、(薬 害軽減)。 ④~B
8.	MG-1 (SR-771)	粒	オキサジアゾン 1.5% MT-101 10.0%	東北、関東、近 中、九州。	○ 一年生、マツバイ、ホタルイ、ウ リカワ、ヘラオモダカ、ミズガヤ ツリ。 A~B
9.	YH-104	粒	未 公 開 A 7% B 10%	近中、四国、九 州。	△ 一年生、マツバイ、ウリカワ。 ④~A
10.	S-342	粒	未 公 開 10%	北海道、東北、 関東、四国、九 州。	□ 一年生、マツバイ、ホタルイ、ヘ ラオモダカ。 ④~B (クロロシス発生要因検討)

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および含有率	試 験 場 所	判 定
11.	MS-751	粒	ピラゾレート 6.0 % ブタクロール 2.5 %	北海道、東北、北陸、関東、四国、九州。	◎ 一年生、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、オモダカ。 ④～B
12.	SW-7817	粒	ピラゾレート 7 % CNP 7 %	東北、関東、近中、四国、九州。	○ 一年生、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、オモダカ。 ④～B
13.	AH-23	粒	未 公 開 (4種) 合 計 13.2 %	北海道、東北、北陸、関東、近中、四国、九州。	○ 一年生、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、オモダカ、クログワイ。 C～D
14.	AH-27	粒	未 公 開 (3種) 合 計 6.8 %	北海道、東北、関東、近中、九州。	○ 一年生広葉、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、オモダカ。 D～F
15.	AH-26	粒	未 公 開 (4種) 合 計 13.7 %	北海道、東北、関東、近中、九州。	□ 一年生、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ。 C～D
16.	Dowco 356	粒	未 公 開 1.3 %	北海道、東北、北陸、関東、四国。	× 効果、薬害共に問題あり。
17.	Dowco 781	粒	未 公 開 (3種) 合 計 3.2 %	北海道、東北、北陸、関東、四国。	× 薬害が問題。
18.	Dowco 782 A・B	粒	未 公 開 A = Dowco 356 + A 2.4 % B = Dowco 356 + B 2.1 %	北海道、東北、北陸、関東、四国。	A 剤 = × B 剤 = 一年生、マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ。 △
19.	X-52・MT	粒	X-52 7 % MT-101 10 %	北陸、近中、四国、九州。	○ 一年生、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、クログワイ。 ④～A
20.	MUA・254A	粒	未 公 開 A 5 % B 8 %	関東。	△ 一年生、マツバイ、ホタルイ。 ④～B (薬害の軽減)

注). 判定欄の記号については、◎＝極めて有望、○＝有望、□＝可能性あり、△＝再検討、×＝見込なし、の意味であり、④、A、B、C、D、E、Fの記号は、雑草（ノビエ指標）の殺草限界である。即ち④＝発生前、A＝ノビエ1Lまで、B＝1.5Lまで、C＝2.0Lまで、D＝2.5Lまで、E＝3.0Lまで、F＝3.5Lまでを意味する。

2). 第2次適用性試験。本年度供試薬剤の判定 結果は第2表の通りである。

第2表 昭和53年度 水稻作関係除草剤適用性試験結果判定表

判 定 区 分	実	実 お よ び 継	継	継 ?	中止
Ⅱ-1 稚苗		B-3015 ④乳、X-150液、	D P X-4432 乳。		

判 定 区 分	実	実 お よ び 継	継	継 ?	中 止
II-1 稚苗 土壤温和 処 理 (つづき)		G-315 B乳, RH-2915粒, ブタクロール乳, G-315 P S.			
II-2 稚苗 移植前後 土壤処理		B-3015・SK粒, G-315・SK 粒, MTS-1粒, MTS-1④粒, CM-301粒, MC-79粒, MS-8④粒, SST-5粒, NKB-1粒, X-52・SK-23 粒, X-150粒, X-151粒, SW -7817粒, MS-751粒, SW -751粒, CG-113粒.	D P X-4432粒, RH- 2915 ④粒.		
II-3 稚苗 移 植 後 土壤処理		MM-2粒, MM-3粒, MTB -3015 ④粒, MC-79粒, YH-3粒, MSW-1粒, MG -1粒, X-52MT粒.			
II-4 稚苗 茎 葉 ・ 土壤処理		YH-5粒, S-28SM粒.	KPW-2粒, AH-23粒.		
II-5 稚苗 適用時期 拡 大	SMX ④粒.	HOK-05B粒, B-3015・S・ MCPB粒, B-3015・S・BAS 粒, MT-101粒, MTB-3015 ④粒, YH-5粒, CG-102粒, TH-63粒, NKB-1粒, SMX 粒, シメトリン・MCPB2.8粒, シメトリン・MCPB2.5粒, シメ トリン・MCPB2.3粒, プロメ トリン・MCPB粒, S-28SM粒, BAS-3510(Na)粒, BAS- 3510(Na)液, BAS-3510(Na) ④粒, CH-16粒, MCP・BAS ④粒, MCP・BAS(Na)液, 2, 4-PA・BAS ④粒, KH-199 粒, MCP・BAS(Na)粒, SMX (Na)粒.	KPW-2粒, AH-4粒, AH-15粒.		
III-1 湛水直播		SW-751粒.			
III-2 乾田直播		B-3015 P粒, S-28 P乳.			
IV 畦 畔	YH-471水和.	HW-45 A水和, MON-39液,	AH-502水和, OK-622 液, SSH-43粒, NKG -1水和, HW-45 C粒, HW-422水和.		
V 耕 起 前		MON-39液, OK-622液.	AH-501液.		

判定 区分	実	実 お よ び 継	継	継 ?	中止
VI 休 耕 田		DPA・DCMU・MCP水和, MON-39液.	VEL-26水和.		

第3表 昭和53年度 水稻作関係除草剤使用基準一覧表

区分	薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
II 1 土 壌 混 和 処 理	1) B-3015 ⊕乳	土 壌 混 和 処 理	温暖地以西の 普通期.	一年生雑草, マ ツバイ.	植代直前直後 (-4~-1).	⊕ml/a 50	壤土~埴土 (2cm/日 以下) 〔但し, 温 暖地西部 は砂壤土 ~埴土 (2cm/日 以下)〕	1) B-3015乳剤に準 ずるが, 均一散布に 留意する. 2) 春季生ワラ施用田 では葉害の危険性が あるので注意する.
	2) X-150 液	土 壌 混 和 処 理	全域の普通期.	一年生雑草, マ ツバイ. 〔但し, マツバ イは温暖地の み。〕	植代直後 (-4~-2).	⊕ml/a 60~80	壤土~埴土 (2cm/日 以下) 〔但し, 温 暖地西部 は砂壤土 ~埴土 (2cm/日 以下)〕	1) 混和時の水深3~ 5 cm. 2) 混和深2~3 cm.
	3) G-315 4) B乳	土 壌 混 和 処 理	寒 地. 寒冷地, 温暖 地東部の普通 期. 温暖地西部の 普通期. 温暖地西部の 早期. 暖地の普通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ. 一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, ミズガヤツ リ. 一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ. 一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ミズガヤツ リ. 一年生雑草, マ ツバイ.	植代直前直後 (-3~-1).	⊕ml/a 寒地, 寒 冷地 50~75, 温暖地 50~65, 暖地 50	砂壤土~ 埴土 (2cm/日 以下)	1) 混和時の水深3~ 5 cm. 2) 混和深2~3 cm. 3) 吸着の悪い土壌 (砂壤土, 腐植含量 の少ない土壌)では, 水の動きの少ない場 合に葉害の危険性が あるので十分注意す る.

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 1 土 壌 混 和 処 理 (つづき)	3) G-315B 4) 乳 (つづき)		暖地の早期。	一年生雑草, マ ツバイ, ミズガ ヤツリ。				
	5) RH- 2915粒	土 壌 混 和 処 理	寒地, 寒冷地 および暖地の 普通期。	一年生雑草, マ ツバイ。	荒代前又は荒代 時 (-7~-2)。	㊥ g/a 300 ~ 400 〔但し, 暖地は 250~ 300〕	壤土~埴土 (2 cm/日 以下)	1) 混和深が浅いと薬 害の恐れがあるので, ロータリー混和とす る。 2) 混和はていねいに する。 3) 落水後移植を厳守 のこと。
			温暖地の普通 期。	一年生雑草, マ ツバイ。	荒代前 (-5~-3)。	㊥ g/a 200 ~ 300 大型圃場 300 〔但し, 温暖地 西部は 300〕		
	6) ブタクロ ール乳	土 壌 混 和 処 理	寒 地。	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ。	植代直後 (-4~-3)。	㊥ ml/a 35~50 〔但し, 寒地は 40~50〕	壤土~埴土 (1 cm/日 以下) 〔但し, 寒冷地, 温暖地東 部は (2 cm/日 以下)〕	1) 低気温および低水 温時の使用は薬害の 危険性があるので使 用をひかえる。 2) ごく浅植の場合, 薬害のおそれがある。
			寒冷地。	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ミズガヤツ リ。				
			温暖地東部の 普通期。	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ。				
			温暖地西部以 西の普通期。	一年生雑草, マ ツバイ。				
	8) G-315 PS	土 壌 混 和 処 理	全域の普通期。	一年生雑草, マ ツバイ, ヘラオ モダカ。 〔但し, ヘラオ モダカは寒地 のみ。〕	植代直後(にご り水時) (-6~-1)。	㊥枚/a 2	砂壤土~埴 土 (2 cm/日 以下)	1) 強風のときは使用 をさしひかえる。 2) 10 a 以下均平水田 で使用する。 3) 水深3~5 cm。
Ⅱ 2. 移 植 土 前 後 処 理	2) B-3015 ・SK 粒	土 壌 処 理	寒冷地, 温暖 地の普通期, 温暖地東部の 早期。	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ。	-3~-7 〔ノビエ1 L ま で, 温暖地西 部と暖地は1. 5 L まで。 ホタルイ: 発生 始まで。〕	㊥ g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (2 cm/日 以下)	
			暖地の普通期。	一年生雑草, マ ツバイ。				

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 1. 移植前後 土壌処理(つづき)	3) G-315・SK粒	土壌処理	寒地, 寒冷地, 温暖地東部の普通期。	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, <u>ヘラオモダカ</u> 。	-3~+5 (ノビエ1Lまで)。但し, 暖地は-3, +3 (ノビエ1Lまで) ホタルイ, ヘラオモダカ: 発生始まで。	㊟ g/a 300	壤土~埴土 (2cm/日以下) 〔但し, 温暖地西部は砂壤土~埴土 (2cm/日以下)〕	1) 深水処理はさける。
			温暖地西部, <u>暖地の普通期</u> 。	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ。				
	4) MTS-1粒	土壌処理	全域の普通期, 早期。	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, <u>クログワイ</u> 。 〔クログワイは温暖地の普通期および温暖地東部の早期のみ。〕	-3~+7 (ノビエ1Lまで)。ホタルイ: 発生始まで。クログワイ: 発生始まで。	㊟ g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	1) ONPに準ずる。 2) クログワイ防除はクログワイにも有効な後期処理剤と組み合わせて使用する。
	5) MTS-1㊟粒	土壌処理	寒地~温暖地の普通期, <u>温暖地東部の早期</u> , 暖地の早期。	一年生雑草, マツバイ, <u>ヘラオモダカ</u> , ホタルイ, <u>クログワイ</u> 。 〔但し, ヘラオモダカは寒地のみ, クログワイは温暖地東部の普通期, 早期のみ。〕	-3~+7 (ノビエ1Lまで)。ホタルイ: 発生始まで。ヘラオモダカ: 発生前。クログワイ: 発生始まで。	㊟ g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	1) ONPに準ずる。 2) クログワイ防除はクログワイにも有効な後期処理剤と組み合わせて使用する。
	6) CM-301粒	土壌処理	寒冷地以西の普通期, 温暖地東部の早期。	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ。	-3~+7 (ノビエ1Lまで)。ホタルイ: 発生始まで。	㊟ g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	1) ONPに準ずる。
	7) MC-79粒	土壌処理	寒地~温暖地の普通期, 温暖地東部の早期。	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, <u>ヘラオモダカ</u> 。	-3~+8 (ノビエ1Lまで)。 〔但し, 寒冷地は-7~+8 (ノビエ1Lまで)〕	㊟ g/a 300 ~ 400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)	1) 深水処理はさける。
			温暖地西部の早期。	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ。	ホタルイ, ヘラオモダカ: 発生始まで。			
			暖地の普通期。	一年生雑草, マツバイ。				
	8) MS-8㊟粒	土壌処理	寒地。	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, <u>ヘラオモダカ</u> 。	-3~+5 (ノビエ1Lまで)。ホタルイ, ヘラ	㊟ g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (2cm/日以下)	

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 1. 移 植 前 後 土 壌 処 理 (つづき)	8) MS-8㊦ 粒 (つづき)		寒冷地, 温暖地 の普通期, 温暖地東部の 早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタ ルイ.	オモダカ: 発生 始まで.			
	9) SST-5 10) 粒	土 壌 処 理	寒地, 寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ.	+0 ~ +5 (ノビエ1Lまで), ホタルイ, クロ グワイ: 発生始 まで.	㊥ g/a 300 ~ 400	壤土 ~ 埴土 (2 cm/日 以下)	1) クログワイ防除は クログワイにも有効 な後期処理剤と組み 合せて使用する. 2) 深水処理はさける.
			温暖地東部の 普通期, 早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, クログワイ.				
			温暖地西部以 西の普通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ.				
	11) NKB-1 粒	土 壌 処 理	寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ.	-3 ~ ノビエ2 Lまで. ホタルイ: 発生 始まで.	㊥ g/a 300 ~ 400	埴土 ~ 埴土 (1.5 cm/日 以下) 〔但し, 寒 冷地, 温 暖地東部 は埴土 ~ 埴土 (2 cm/日 以下)〕	
			温暖地東部の 普通期.	一年生雑草, マ ツバイ.	+0 ~ ノビエ2 Lまで.			
			温暖地西部以 西の普通期.	一年生雑草, マ ツバイ.	+2 ~ ノビエ2 Lまで.			
	12) X-52・ 13) SK-23 粒	土 壌 処 理	寒地, 寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ.	-3 ~ +7 (ノビエ1Lまで), ホタルイ, ヒメ ホタルイ: 発生 始まで. ミズガヤツリ: 発生前 ~ 3L. クログワイ: 発 生始まで.	㊥ g/a 300 〔但し, 寒地, 寒冷地 は300 ~ 400.〕	埴土 ~ 埴土 (2 cm/日 以下) 砂埴土 (1 cm/日 以下)	1) X-52粒剤に準ず る. 2) クログワイ防除は クログワイにも有効 な後期処理剤と組み 合せて使用する. 3) 深水処理はさける.
			温暖地東部の 普通期, 早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヒメホタル イ, ミズガヤツ リ, クログワイ.				
			温暖地西部の 普通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヒメホタル イ.				
			暖地の普通期, 早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ミズガヤツ リ〔但し, ミズ ガヤツリは早期 のみ〕.				
	14) X-150 粒	土 壌 処 理	全域の普通期.	一年生雑草, マ ツバイ.	-3 ~ +7 (ノビエ1Lまで).	㊥ g/a 300 ~ 400	埴土 ~ 埴土 (2 cm/日 以下)	1) 温暖地および暖地 のコナギ多発田では 早目に処理する.

区分	薬 剤 名	処理法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ — 2. 移 植 前 後 土 壌 処 理 (つ づ き)	14) X-150 粒 (つづき)						[但し、寒 冷地、温 暖地西部 は砂壤土 を含む。]	2) 深水処理はさける。
	15) X-151 粒	土 壌 処 理	全域の普通期。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ヘラオモダ カ。 [但し、ヘラオ モダカは寒地 のみ。]	-3~+7 (ノビエ1Lまで)。 ホタルイ、ヘラ オモダカ：発生 始まで。	㊟ g/a 300	壤土~埴土 (2 cm/日 以下)	1) 温暖地および暖地 のコナギ多発田では 早目に処理する。 2) 深水処理はさける。
	16) SW- 7817 粒	土 壌 処 理	寒冷地以西の 普通期。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ。	+0~+7 (ノビエ1Lまで)。 [但し、暖地は ノビエ1.5 L まで。]	㊟ g/a 300 ~ 400	砂壤土~埴 土 (2 cm/日 以下)	1) 砂壤土で高温条件 の時はクロロシスの 発生が著しいので注 意する。 2) 深水処理はさける。
			温暖地東部の 早期。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ。 ホタルイ、ウリ カワ：発生始ま で。 [但し、暖地の ウリカワは発 生前~2 Lま で。]				
	17) MS-751 粒	土 壌 処 理	寒 地。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ヘラオモダ カ。	-3~+7 [寒地はノビエ 1 Lまで、寒 冷地、温暖地 はノビエ1.5 Lまで。]	㊟ g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (2 cm/日 以下)	1) 極端な浅植えはさ ける。 2) 低温時には使用し ない。
			寒冷地以西の 普通期、温暖 地東部の早期。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ、 ミズガヤツリ。	[但し暖地普通 期は+3~+ 7 (ノビエ2 Lまで)] ホタルイ、ウリ カワ、ヘラオモ ダカ、ミズガヤ ツリ：発生始ま で。 [但し、暖地の ウリカワは発 生前~2 Lま で。]			
	18) SW-751 19) 粒	土 壌 処 理	寒 地。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル	-3~+7 (ノビエ1Lまで)。	㊟ g/a 300 ~	砂壤土~埴 土	1) 砂壤土で高温条件 の時はクロロシスの

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
II 1. 移植前後土壌処理(つづき)	18) SW-751 19) 粒 (つづき)	土 壌 処 理		イ、ヘラオモダカ。	〔但し、温暖地〕 西部はノビエ 1.5 Lまで、 暖地はノビエ 2 Lまで。 ホタルイ、オモ ダカ、ミズガヤ ツリ：発生始ま で。 ヘラオモダカ、 ウリカワ：発生 前～2 L。	400	(2 cm/日 以下) 〔但し、寒 地は壤土 ～埴土 (2cm/日 以下)〕	発生が著しいので注 意する。
			寒冷地。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ、 オモダカ、ミズ ガヤツリ。				
			温暖地の普通 期、温暖地東 部および暖地 の早期。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ、 ミズガヤツリ。				
			温暖地西部の 早期。	一年生雑草、マ ツバイ、ウリカ ワ。				
			暖地の普通期。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ。				
	21) CG-113 22) 粒	土 壌 処 理	寒地、寒冷地。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ヘラオモダ カ。 〔但し、ヘラオ モダカは寒地 のみ〕	-3～+5 (ノビエ1Lまで)。 ホタルイ、ヘラ オモダカ、ミズ ガヤツリ：発生 始まで。	⊕ g/a 300	埴土～埴土 (2 cm/日 以下)	
			温暖地の普通 期、温暖地東 部の早期。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ヘラオモダ カ、ミズガヤツ リ。 〔但し、ヘラオ モダカは温暖 地東部の普通 期、早期のみ。〕				
			暖地の普通期。	一年生雑草、マ ツバイ。				
II 3. 移植後土壌処理	1) MM-2 2) 粒	土 壌 処 理	寒地。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ヘラオモダ カ。	+3～+10 (ノビエ1.5Lまで)。 ホタルイ、ウリ カワ、ヘラオモ ダカ、ミズガヤ ツリ：発生始～ 2 L。	⊕ g/a 300～ 400	埴土～埴土 (1.5 cm/日 以下)	1) ブタクロール粒剤 に準ずる。
			寒冷地、温暖 地の普通期、 温暖地東部の 早期。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ、 ヘラオモダカ、 ミズガヤツリ。				

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 1. 移植後土壌処理（つづき）	1) MM-2 2) 粒 (つづき)			〔但し、ヘラオモダカは寒冷地のみ。〕				
			暖地の普通期、早期。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ。				
	3) MM-3 4) 粒	土壌処理	寒地。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ。	+3～+10 (ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ：発生始～2L。	㊥ g/a 300～400	壤土～埴土 (1.5cm/日以下)	1) ブタクロール粒剤に準ずる。
			寒冷地、温暖地の普通期、温暖地東部の早期。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ。 〔但し、ヘラオモダカは寒冷地のみ。〕				
			暖地の普通期。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ。				
5) MTB-3015 ㊥粒		土壌処理	寒地。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ。	+2～ノビエ2Lまで。 ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ：発生始～2L。	㊥ g/a 300～400	砂壤土～埴土 (2cm/日以下)	
			寒冷地。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ。				
			温暖地以西の普通期、温暖地東部および暖地の早期。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ。				
6) MC-79粒		土壌処理	寒地、寒冷地、温暖地の普通期、温暖地東部の早期。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ。	-3～+8 (ノビエ1Lまで)。 〔但し、寒冷地は-7～+8 (ノビエ1Lまで)。 ホタルイ、ヘラオモダカ：発生始まで。	㊥ g/a 300～400	砂壤土～埴土 (2cm/日以下)	
			温暖地西部の早期。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ。				
			暖地の普通期。	一年生雑草、マツバイ。				

区分	薬 剂 名	処理法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
II 3. 移 植 後 土 壌 処 理 (つづき)	7) YH-3 粒	土 壌 処 理	寒 地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ.	+3~+7 (ノビエ1Lまで). ホタルイ, ヘラ オモダカ, ミズ ガヤツリ:発生 始~2L.	㊥ g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (2cm/日 以下)	
			寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, ミズガヤツ リ.				
			温暖地の普通 期, 温暖地東 部の早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ.				
	8) MSW-1 粒	土 壌 処 理	寒 地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ.	+3~+10 (ノビエ1.5Lま で). ホタルイ:発生 始まで. ウリカワ, ヘラ オモダカ:発生 始~2L.	㊥ g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (2cm/日 以下) 〔但し, 寒 冷地および 暖地早期は, 砂壤土~ 埴土 (2cm/日 以下)〕	
			寒冷地以西の 普通期, 早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ. 〔但し, ホタル イは寒冷地の み.〕				
	9) MG-1 粒	土 壌 処 理	寒冷地以西の 普通期, 温暖 地東部の早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ. 〔但し, ホタル イは暖地普通 期では除外.〕	+3~+7 (ノビエ1Lまで). ホタルイ, ウリ カワ:発生始ま で. 〔但し, 温暖地 西部以西では ホタルイ, ウ リカワともに 2Lまで.〕	㊥ g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (1.5cm/日 以下)	1) 深水にならないよ うに注意する.
	10) X-52・ MT粒	土 壌 処 理	寒冷地, 温暖 地東部普通期, 早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ.	+3~+7 (ノビエ1Lまで). ホタルイ, ウリ カワ:発生始ま で. 〔但し, 暖地普 通期ではウリ カワ2Lまで.〕	㊥ g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (1.5cm/日 以下) 〔但し, 暖 地は砂壤 土~埴土 (1cm/日 以下)〕	
			暖地の普通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ウリカ ワ.				
II 4.	2) YH-5 粒	茎葉・土 壌	温暖地の普通 期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ.	+10~ノビエ2 Lまで(+15頃). ホタルイ:発生	㊥ g/a 300 ~ 400	埴壤土~埴 土	1) シメトリン混合剤 の使用上の注意をま もる.

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ — 4. 茎葉兼土壌処理(つづき)	2) YH-5 粒			[但し、ウリカワは温暖地西部のみ。]	始～2 L. ウリカワ：発生始～3 L.		(2 cm/日以下)	
	3) S-28・4) SM 粒	茎葉・土壌処理	温暖地の普通期、温暖地東部の早期、 <u>暖地</u> の早期。	一年生雑草、マツバイ、ウリカワ、ヘラオモダカ。 [但し、ヘラオモダカは暖地の早期では除外。]	+12～ノビエ 2.5 L まで。 [但し、温暖地東部の早期は +15～ノビエ 2.5 L まで。] ウリカワ、ヘラオモダカ：発生始～4 L.	㊟ g/a 300～400	壤土～埴土 (2 cm/日以下) 砂壤土 (1 cm/日以下)	1) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる。 2) 暖地早期は4月20日以降移植ののに限る。
Ⅱ — 5. 適用時期拡大	1) HOK-05 B 粒	茎葉・土壌処理	寒冷地。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、 <u>ウリカワ</u> 、ヘラオモダカ。	田植前後土壌処理した場合、+20～+25 (ノビエ2Lまで)。	㊟ g/a 300～400	壤土～埴土 (2 cm/日以下) 砂壤土 (1 cm/日以下)	1) 前処理剤との組合せで使用する。 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる。 3) 低温時は、薬害発生の危険性があるので、使用はさける。
			温暖地東部の普通期。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、セリ。	[但し、暖地の普通期は+16～+25。 寒冷地はイネ5 L以降。]			
			温暖地西部以西の普通期、暖地の早期。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ。	ホタルイ：発生始～2 L。 ウリカワ、ヘラオモダカ：発生始～5 L。 セリ：増殖初期まで。			
	3) B-3015・S・MCPB 粒	茎葉・土壌処理	寒地。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ。	田植前後土壌処理をした場合、+20～+30 (ノビエ3 L)。	㊟ g/a 300～400 [但し、寒地は300]	壤土～埴土 (2 cm/日以下) 砂壤土 (1 cm/日以下)	1) 前処理剤との組合せで使用する。 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる。 3) 低温時は薬害発生の危険性があるので、使用はさける。
			寒冷地。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、オモダカ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ。	[但し、寒地はノビエ2.5 L 寒冷地以北はイネ5 L以降。] ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ：発生始～4 L。 オモダカ：発生始～2 L。 クログワイ：発生			
			温暖地東部の普通期、早期。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、オモダカ、ミズガヤツリ、 <u>クログワイ</u> 。				

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ ― 5. 適用 時期 拡大 (つづき)	3) B-3015・ S・MCPB 粒 (つづき)				始～草丈5 cm.			
			温暖地西部以西の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ウリカワ.	+20～+25 (ノビエ3 Lまで) ホタルイ: 発生始～4 L. ウリカワ: 発生始～5 L.			
	4) B-3015・ S・BAS 粒	茎葉・土壌処理	寒冷地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, <u>ミズガヤツリ</u> .	田植前後土壌処理した場合, +20～+25 (ノビエ2.5 Lまで). ホタルイ: 発生始～3 L. ミズガヤツリ: 発生始～5 L.	㊥ g/a 300～ 400	壤土～埴土 (2 cm/日以下)	1) 前処理剤との組み合わせで使用.
	5) MT-101 粒	土壌処理	寒冷地以西の普通期.	一年生広葉雑草, マツバイ, ウリカワ, <u>ホタルイ</u> . 〔但し, ホタルイは温暖地西部のみ.〕	+5～+10. ウリカワ: 発生始～3 L. ホタルイ: 発生始～2 L.	㊥ g/a 300～ 400	砂壤土～埴土 (2 cm/日以下)	
	6) <u>MTB-3015</u> ㊥ 粒	茎葉・土壌処理	寒地, 寒冷地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, <u>ヘラオモダカ</u> .	田植前後土壌処理した場合, +15～+20 (ノビエ2 Lまで).	㊥ g/a 300～ 400	壤土～埴土 (2 cm/日以下)	1) 前処理剤との組み合わせで使用.
			温暖地東部の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, <u>オモダカ</u> .	〔但し, 寒地は〕 ノビエ1.5 Lまで.			
			温暖地西部の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, <u>ウリカワ</u> .	ホタルイ, オモダカ, <u>ヘラオモダカ</u> : 発生始～2 L. ウリカワ: 発生始～3 L.			
	7) YH-5 粒	茎葉・土壌処理	<u>寒地</u> .	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, <u>ヘラオモダカ</u> .	田植前後土壌処理した場合, +20～+25 (ノビエ2 Lまで).	㊥ g/a 300～ 400	壤土～埴土 (2 cm/日以下)	1) 前処理剤との組み合わせで使用. 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる. 3) 低温時は, 薬害発生の危険性があるので使用はさける.
			寒冷地, 温暖地の普通期.	一年生雑草, マツバイ, <u>ホタルイ</u> , <u>ウリカワ</u> .	〔但し, 寒地+〕 20～+30, ノビエ2 Lまで, 寒冷地以北は イネ5 L以降.〕 ホタルイ: 発生始～2 L.			

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ ― 5. 適用 時 期 拡 大 (つづき)	7) YH-5 粒 (つづき)				ウリカワ、ヘラ オモダカ：発生 始～4 L.			
	8) CG-102 9) 粒 10)	茎 葉 ・ 土 壌 処 理	寒地.	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ヘラオモダ カ、ヒルムシロ、 アオミドロ.	田植前後土壌処 理した場合、 +15～+25 (ノビエ2.5 L まで).	㊥ g/a 300～ 400	砂壤土～埴 土 (2 cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み 合せて使用する。 2) シメトリン混合剤 の使用上の注意をま もる。 3) ミズガヤツリの場合 は、ミズガヤツリ に有効な土壌処理剤 と組み合せて使用す る。
			寒冷地.	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ヘラオモダ カ、ミズガヤツ リ、ヒルムシロ、 ウキクサ、アオ ミドロ.	〔但し、寒地は〕 2 Lまで。 ホタルイ、ヘラ オモダカ、ミズ ガヤツリ：発生 始～2 L. ヒルムシロ：発 生盛～増殖初 期。 ヒメホタルイ： 草丈5～10cm.			
			温暖地東部の 普通期、早期.	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ミズガヤツ リ、ヒルムシロ、 ヒメホタルイ、 ウキクサ、アオ ミドロ.				
			温暖地西部の 普通期、早期、 暖地の早期.	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ.				
			暖地の普通期.	一年生雑草、マ ツバイ、ヒルム シロ.				
	11) TH-63 12) 粒 13) 14)	茎 葉 ・ 土 壌 処 理	寒地.	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ、 ヘラオモダカ、 ヒルムシロ、ア オミドロ.	田植前後土壌処 理した場合、 +15～+25 (ノビエ2.5 L まで).	㊥ g/a 300～ 400	砂壤土～埴 土 (2 cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み 合せて使用する。 2) シメトリン混合剤 使用上の注意をまも る。
			寒冷地.	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ、 オモダカ、ヘラ オモダカ、ミズ ガヤツリ、ヒル ムシロ、ウキク サ、アオミドロ.	〔但し、寒地は〕 2 Lまで。 ホタルイ、ウリ カワ：発生盛～ 5 L. ヘラオモダカ、 オモダカ：発生 盛～4 L. ミズガヤツリ： 発生盛～6 L. ヒルムシロ：発 生盛～増殖初 期.			
			温暖地東部の 普通期、早期.	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ、				

区分	薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 1 5. 適 用 時 期 拡 大 (つづき)	11) TH-63 12) 粒 13) 14) (つづき)			ミズガヤツリ, クログワイ, ヒ メホタルイ, ヒ ルムシロ, ウキ クサ, アオミド ロ.	ヒメホタルイ, クログワイ:草 丈5~10 cm.			
			温暖地西部以 西の普通期, 早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ミズガヤツリ, クログワイ, ヒ ルムシロ. 〔但し, クログ ワイは普通期 のみ, ヒルム シロは暖地普 通期のみ.〕				
	15) NKB-1 粒	土 壌 処 理	寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ.	-3~+3 ホタルイ:発生 始まで.	㊥ g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (2 cm/日 以下)	1) 中期処理剤との組 み合せて使用する.
	16) SMX ① 粒	茎 葉 ・ 土 壌 処 理	寒 地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ.	田植前後土壌処 理をした場合, +20~+30 (ノビエ2Lまで).	㊥ g/a 300 ~ 400 〔但し, 寒地は 300の み.〕	砂壤土~埴 土 (2 cm/日 以下) 〔但し, 砂 壤土は寒 冷地のみ〕	1) 前処理剤との組み 合せて使用する. 2) シメトリン混合剤 使用上の注意をまも る. 3) 低温時は薬害発生 の危険性があるので 使用はさける. 4) ミズガヤツリの場合 はミズガヤツリに 有効な土壌処理剤と 組み合せて使用する.
17) SMX 粒 18)	茎 葉 ・ 土 壌 処 理		寒 地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ.	田植前後土壌処 理をした場合, 寒地+20~+30 (ノビエ1.5 L まで).	㊥ g/a 300	砂壤土~埴 土 (2 cm/日 以下) 〔但し, 寒 地は埴土 ~埴土 (2 cm/日 以下), 暖地は 埴埴土~ 埴土 (1 cm/日 以下).〕	1) 前処理剤との組み 合せて使用する. 2) シメトリン混合剤 使用上の注意をまも る. 3) 低温時は薬害発生 の危険性があるので 使用はさける.
			寒冷地, 温暖 地の普通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ヘラオモダカ, ミズガヤツリ. 〔但し, ヘラオ モダカは寒冷 地のみ, ホタ	寒冷地+20~+ 25 (ノビエ2 L まで). 温暖地+15~+ 25 (ノビエ2 L まで). 〔但し, 寒冷地〕			

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 5. 適用 時期 拡大 (つづき)	17) SMX 粒 18)(つづき)			ルイは温暖地 西部は除く。	以北ではイネ 5 L 以降。			
			暖地の普通期。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ。	ホタルイ、ウリ カワ、ヘラオモ ダカ、ミズガヤ ツリ：発生盛～ 5 L。 〔但し、暖地の ウリカワは、 3～8 L。〕			
	19) シメトリ ン・MCPB 2.8 粒	茎葉・土 壌処理	寒地。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ヘラオモダ カ。	田植前後土壌処 理をした場合、 +20～+30 (ノビエ 1.5 L まで)。 〔但し、イネ 5 L 以降。〕 ホタルイ：発生 始～2 L。 ヘラオモダカ： 発生始～4 L。	㊟ g/a 300	壤土～埴土 (2 cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み 合せて使用する。 2) シメトリン混合剤 使用上の注意をまも る。 3) 低温時は薬害発生 の危険性があるので 使用はさける。
	20) シメトリ ン・MCPB 2.5 粒	茎葉・土 壌処理	寒地。 寒冷地。 温暖地の普通 期、温暖地東 部の早期、暖 地の普通期。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ヘラオモダ カ。 一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ。 〔但し、ウリカ ワは寒冷地南 部のみ。〕 一年生雑草、マ ツバイ、ウリカ ワ。	田植前後土壌処 理をした場合、 +20～+25 (ノビエ 1.5 L まで)。 〔但し、寒地は +20～+30、 寒冷地以北は イネ 5 L 以降。〕 ホタルイ：発生 始～2 L。 ウリカワ：発生 揃～5 L。 ヘラオモダカ： 発生始～4 L。 〔但し、暖地普 通期のウリカ ワは 3～8 L。〕	㊟ g/a 300 ～ 400 〔但し、 寒地、 暖地の 普通期 は 300 のみ。〕	壤土～埴土 (2 cm/日 以下) 砂壤土 (1 cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み 合せて使用する。 2) シメトリン混合剤 使用上の注意をまも る。 3) 低温時は薬害発生 の危険性があるので 使用はさける。
	21) シメトリ ン・MCPB 2.3 粒	茎葉・土 壌処理	寒地、寒冷地。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ヘラオモダ カ。 〔但し、ヘラオ モダカは寒地 のみ。〕	田植前後土壌処 理をした場合、 +20～+30 (ノビエ 1.5 L まで)。 〔但し、イネ 5 L 以降〕 ホタルイ：発生	㊟ g/a 300 ～ 400 〔但し、 寒地は 300 の み。〕	砂壤土～埴 土 〔但し、寒 地は埴土 ～埴土、 (2 cm/日 以下)〕	1) 前処理剤との組み 合せて使用する。 2) シメトリン混合剤 の使用上の注意をま もる。 3) 低温時は、薬害発 生の危険性があるの で、使用はさける。

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ — 5. 適用 時期 拡大 (つづき)	21) シメトリ ン・M C P B 2.3 粒 (つづき)				始～2 L. ヘラオモダカ： 発生始～4 L.			
	22) プロメト リン・ M C P B 粒	茎 葉・土 壌処 理	寒地, 寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, ミズガヤツ リ. 〔但し, ミズガ ヤツリは寒冷 地のみ.〕	田植前後土壌処 理をした場合, +20～+30 (ノビエ 1.5 L まで). 〔但し, 寒冷地 以北はイネ 5 L 以降.〕	㊥ g/a 300 〔但し, 温暖地 東部は 300～ 400〕	壤土～埴土 (2 cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み 合わせで使用する. 2) シメトリン混合剤 の使用上の注意をま もる. 3) 低温時は, 薬害発 生の危険性があるの で, 使用はさける.
			温暖地東部の 普通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ウリカ ワ.	ホタルイ, ミズ ガヤツリ: 発生 始～2 L. ウリカワ, ヘラ オモダカ: 発生 始～4 L.			
	23) S-28・ SM 粒	茎 葉・土 壌処 理	寒地, 寒冷地, 温暖地東部の 普通期, 早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ヘラオモダカ, ヒメホタルイ. 〔但し, ウリカ ワは寒地を除 く, ヒメホタ ルイは温暖地 地東部のみ.〕	田植前後土壌処 理をした場合, 寒地, 寒冷地 +20～+30 〔ノビエ寒地 2 L, 寒冷地 2. 5 L まで.〕 温暖地, 暖地 +20～+25 (ノビエ 2.5 L まで). 〔但し, 寒冷地 以北ではイネ 5 L 以降.〕	㊥ g/a 300 〔但し, 寒冷地 は 300 ～400〕	壤土～埴土 (2 cm/日 以下) 〔但し, 寒 冷地以西 は砂壤土 (1 cm/日 以下) を 含む.〕	1) 前処理剤との組み 合わせで使用する. 2) シメトリン混合剤 の使用上の注意をま もる. 3) 低温時は, 薬害発 生の危険性があるの で, 使用はさける.
			温暖地西部以 西の普通期, 暖地の早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ウリカ ワ.	ホタルイ: 発生 始～2 L. ウリカワ: 発生 始～4 L. ヘラオモダカ: 発生始～4 L. ヒメホタルイ: 草丈 5～10 cm.			
	24) B A S - 3510 (Na) 粒	茎 葉・土 壌処 理	寒 地.	一年生非イネ科 雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラ オモダカ.	田植前後土壌処 理をした場合, 一年生非イネ科 : 生育期.	㊥ g/a 300 ～ 400	壤土～埴土 (2 cm/日 以下)	1) 浅水散布 3 日間止 水する.

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ ― 5. 適用 時期 拡大 (つづき)	24) B A S ― 3510 (Na) (つづき)				ホタルイ、ヘラ オモダカ：発生 盛～増殖初期。			
		茎葉(浅水もしくは落水散布)	全域の普通期、 温暖地東部の 早期。	一年生非イネ科 雑草、ホタルイ、 ウリカワ、ヘラ オモダカ、ミズ ガヤツリ。	一年生非イネ科 ：生育期。 ホタルイ、ウリ カワ、ヘラオモ ダカ、ミズガヤ ツリ：発生盛～ 増殖中期。	㊟ g/a 300 ～ 400	砂壤土～埴 土 (1.5cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み 合わせで使用する。 2) 処理後の湛水は48 ～72 時間経過後行 う。
	26) B A S ― 3510 (Na) 液	茎葉(落水処理)	寒冷地、温暖 地東部の普通 期、早期。	一年生非イネ科 雑草、ホタルイ、 ウリカワ、オモ ダカ、ヘラオモ ダカ、ミズガヤ ツリ、 <u>クログワイ</u> 。 〔但し、ヘラオ モダカは寒冷 地のみ。〕	田植前後土壌処 理をした場合、 一年生非イネ科 雑草：生育期。 ウリカワ、ホタ ルイ、ミズガヤ ツリ：発生盛～ 増殖初期。 〔但し、温暖地〕 以西は発生盛 ～増殖中期。〕	㊟ mL/a 40 ～60	全土壌	1) 前処理剤との組み 合わせで使用する。 2) 散布は水稻になる べくかからないよう にする。 3) 処理後の湛水は48 ～72時間経過後に行 う。 4) 処理後2日以内に 降雨が予想される場 合は使用をさしひか える。
			温暖地西部の 普通期。	一年生非イネ科 雑草、ホタルイ、 ウリカワ、オモ ダカ、ヘラオモ ダカ、ミズガヤ ツリ、セリ。	ヘラオモダカ、 コウキヤガラ： 発生盛～増殖 初期。 オモダカ：発生 盛～発生前期。 セリ：発生盛～ 増殖初期。 クログワイ：増 殖初期～増殖 中期。			
			暖地の普通期 早期。	一年生非イネ科 雑草、ホタルイ、 ウリカワ、ミズ ガヤツリ、コウ キヤガラ。 〔但し、ホタル イは普通期の み。〕				
	27) B A S ― <u>3510</u> (Na) ① <u>粒</u>	茎葉(浅水若しくは落水散布)	寒地、寒冷地、 温暖地の普通 期。	一年生非イネ科 雑草、マツバイ、 ホタルイ、ヘラ オモダカ、ミズ ガヤツリ。 〔但し、ヘラオ モダカは寒地、 寒冷地のみ、 ミズガヤツリ は寒冷地のみ。〕	田植前後土壌処 理をした場合、 一年生非イネ科 ：生育期、寒地 +20～+30。 ヘラオモダカ： 発生始～6 L。 ホタルイ：発生 始～5 L。 寒冷地、温暖地 +20～+25。	㊟ g/a 300 ～ 400	砂壤土～埴 土 (1.5cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み 合わせで使用する。 2) 処理後の湛水は48 ～72時間経過後に行 う。

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ — 5. 適用 時期 拡大 (つづき)	27) BAS-3510 (Na) ① 粒 (つづき)		暖地の普通期, 早期.	一年生非イネ科雑草, マツバイ, ウリカワ, ミズガヤツリ. 〔但し, ミズガヤツリは早期のみ.〕	ホタルイ, ウリカワ, ヘラオモダカ, ミズガヤツリ: 発生盛～発生前. 〔但し, 温暖地西部のホタルイ: 発生始～2 L. 暖地の早期+30～+40. 暖地の普通期+15～+25. ウリカワ: 3～8 L. ミズガヤツリ: 3～7 L.〕			
	30) CH-16G 31) 粒 32)	茎葉・土壌処理	寒地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ.	田植前後土壌処理をした場合, +20～+30. 〔但し, 寒地, 温暖地東部は+20～+25〕	㊟ g/a 300～400 〔但し, 寒地は300のみ.〕	壌土～埴土 (2 cm/日以下)	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる. 3) 低温時は葉害発生の危険性があるので, 使用をさしひかえる.
			寒冷地.	一年生雑草, マツバイ.	(ノビエ 2.5 L まで). 〔但し, 寒地は1.5 L, 寒冷地は2.0 L まで.〕			
			温暖地東部の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ウリカワ.	ホタルイ: 発生始～2 L. ウリカワ, ヘラオモダカ: 発生始～4 L. 〔但し, 寒地以北ではイネ 5 L 以降.〕			
	33) MCP・BAS ① 粒	茎葉・土壌処理	寒地.	一年生非イネ科雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ.	田植前後土壌処理をした場合, +30～+45. 〔但し, 温暖地および暖地早期は+20～+30.〕	㊟ g/a 300～400	砂壤土～埴土 〔但し, 暖地の早期は埴土～埴土〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) 落水若しくは浅水で使用する. 3) 処理後の灌水は48～72時間経過後に行う.
			寒冷地, 温暖地以西の普通	一年生非イネ科雑草, マツバイ,				

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ ― 5. 適用 時期 拡大 (つづき)	33) MCP・BAS ①粒 (つづき)		期, 温暖地東部の早期, 暖地の早期.	ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ. 〔但し, ウリカワは寒冷地は除外. ホタルイは暖地の早期は除外.〕	〔暖地普通期は〕 〔+15~+30.〕 ホタルイ: 発生揃~4 L. ヘラオモダカ, ミズガヤツリ: 発生揃~6 L. ウリカワ: 増殖開始前まで.		(1.5 cm/日以下)	4) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は使用をさしひかえる.
	34) MCP・BAS (Na) 液	茎葉(落水散布)	寒冷地. 温暖地の普通期. 暖地の普通期.	一年生非イネ科雑草, ホタルイ, ミズガヤツリ. 一年生非イネ科雑草, ホタルイ, ウリカワ, オモダカ, ヘラオモダカ, ミズガヤツリ, クログワイ, コウキヤガラ, セリ. 一年生非イネ科雑草, ホタルイ, ウリカワ, ヘラオモダカ, ミズガヤツリ, コウキヤガラ.	MCP 散布時期に準ずる. 〔但し, 寒冷地〕 〔は+40~+48 暖地は+15~+26.〕 一年生非イネ科: 生育期. ホタルイ: 発生揃~4 L. ウリカワ: 塊茎形成前. オモダカ: 発生盛~揃期. ヘラオモダカ: 発生揃~5 L. ミズガヤツリ: 発生揃~8 L. クログワイ, セリ: 増殖盛期. コウキヤガラ: +30~+40.	㊟ mL/a 30~50	全土壌	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) 水稲になるべくかからないようにする. 3) 処理後の灌水は48~72時間経過後に行う. 4) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は使用をさしひかえる.
	35) 2,4-PA BAS ①粒	茎葉(浅水若しくは落水散布)	温暖地以西の普通期.	一年生非イネ科雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ, ヒメホタルイ. 〔但し, ヒメホタルイは暖地は除外.〕	田植前後土壌処理をした場合, +30~+35. 〔但し, 暖地は〕 〔+15~+25.〕 一年生非イネ科: 生育期. ホタルイ: 発生揃~4 L. ウリカワ: 塊茎形成前. ミズガヤツリ: 発生揃~6 L. ヒメホタルイ: 草丈5~10 cm.	㊟ g/a 300 ~ 400	砂壤土~埴土 (1.5 cm/日以下)	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) 落水若しくは1~2 cmの浅水で使用する. 3) 処理後の灌水は48~72時間経過後に行う.

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ ― 5. 適用時期 拡大(つづき)	36) KH-199 粒	茎葉・土壌処理	寒冷地, 温暖地の普通期, 温暖地東部の早期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ウキクサ. 〔但し, ホタルイは温暖地東部の普通期, 早期のみ. ウキクサは温暖地西部の普通期のみ.〕	田植前後土壌処理をした場合, 寒冷地+20~+25. 温暖地+15~+20. (ノビエ 1.5 L まで). 〔但し, 寒冷地はイネ 5 L 以降.〕 ホタルイ: 発生始~2 L. ウリカワ: 発生盛~5 L.	㊟ g/a 300 ~ 400	砂壤土~埴土 〔但し, 温暖地東部は埴土~埴土 (2cm/日以下)〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる. 3) 低温時は葉害発生の危険性があるので使用をさしひかえる.
	37) MCP・BAS(Na) 粒	茎葉 (浅水若しくは落水散布)	寒地. 寒冷地, 温暖地の普通期, 早期.	一年生非イネ科雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ. 一年生非イネ科雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, オモダカ, ヘラオモダカ, ミズガヤツリ, セリ. 〔但し, オモダカ, セリは温暖地東部のみ, ヘラオモダカは寒冷地のみ.〕	MCP 散布期に準ずる. 〔但し, 寒冷地は+35~+55, 暖地は+25~+35(普通期), +25~+40 (早期).〕 一年生非イネ科: 生育期. ホタルイ: 発生揃~4 L. ウリカワ: 塊茎形成前. オモダカ: 発生揃~4 L. ヘラオモダカ: 発生揃~6 L. ミズガヤツリ: 発生始~6 L. セリ: 増殖盛期.	㊟ g/a 300 ~ 400	埴土~埴土 (1.5cm/日以下) 〔但し, 暖地普通期は砂壤土 (1cm/日以下) を含む.〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) 落水若しくは浅水で使用する. 3) 処理後の灌水は48~72時間経過後に行う. 4) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は使用をさしひかえる.
	38) SMX (Na) 粒	茎葉・土壌処理	寒地. 寒冷地, 温暖地の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ. 一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ. 〔但し, ホタルイ, ミズガヤツリは早期のみ.〕	田植前後土壌処理をした場合, +15~+25. 〔但し, 寒地は+20~+30, 寒冷地は+20	㊟ g/a 300	砂壤土~埴土 〔但し, 寒地は埴土~埴土 (2cm/日以下)〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる. 3) 低温時は葉害の危

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ ― 5. 適用時期拡大(つづき)	38) SMX (Na) 粒 (つづき)			ワ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ。 〔但し、ホタルイは温暖地西部は除外。 ヘラオモダカは寒冷地のみ。〕	〔～+25, (ノビエ2Lまで)、 寒冷地以北では イネ5L以降。〕 ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ：発生盛～5L。 ヘラオモダカ：発生盛～4L。			毒性があるので使用をさしひかえる。
Ⅲ ― 1. 湛水直播	1) SW-751 粒	土壌処理	寒冷地南部以西。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ。 〔但し、ウリカワは温暖地西部、暖地のみ。〕	～3～+3。 〔但し、寒冷地南部および温暖地東部は +0～+3〕	㊥ g/a 300～400 〔但し、400は播種前のみ。〕	壤土～埴土 (2cm/日以下)	
Ⅲ ― 2. 乾田直播	1) B-3015-P 粒	土壌処理	温暖地以西。	一年生雑草。	播種直後 (+0～+3)。	㊥ g/a 400～600	壤土～埴土 〔但し、温暖地西部は砂壤土を含む。〕	1) タカサブロウ多発地を除く。

一日瞭然 効きめが見える

水田多年生雑草防除に

バサゲラン^{*}粒剤 水和剤

適用雑草 ● ミズガヤツリ・ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ・水田一年生広葉雑草

新発売

効きめと安全の信頼にこたえる



住友化学

東京都中央区日本橋2丁目7番9号

取扱メーカー

クミアイ化学・三共・サンケイ化学

日本農薬・北興化学・八洲化学

(アイワエス商)

*は西ドイツBASF社の商標です。

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅲ 2. 乾田直播(つづき)	2) S-28・P乳	土壌処理	温暖地以西.	一年生雑草.	播種後 雑草発生前～始 (イネ出芽前).	㊥ml/a 70 ~ 120	壤土～埴土	1) 一年生イネ科雑草 優占圃場.
Ⅳ 畦 畔	1) HW-45A 水和	茎葉・土壌処理	寒冷地, 温暖 地東部.	全 草 種.	雑草生育初期 (草丈10~20cm).	㊥ g/a 150 ~ 200	全土壌.	1) ノリ面散布はさける. 2) 稲体にかからないようにする. 3) 流水による薬害のおそれをなくする.
	3) Mon-39 液	茎葉処理	全 域.	全 草 種.	雑草生育期.	㊥ml/a 一年生: 25~50 多年生: 75 ~ 100	全土壌.	1) ノリ面散布はさける. 2) 稲体にかからないようにする. 3) 流水による薬害のおそれをなくする. 4) 年一回程度の使用にとどめる.
	7) YH-471・ H水和	茎葉・土壌処理	寒冷地以西.	全 草 種.	雑草発生前～ 発生盛期.	㊥ g/a 100 ~ 150	全土壌.	1) ノリ面散布はさける. 2) 稲体にかからないようにする. 3) 流入による薬害のおそれをなくする.
Ⅴ 耕 起 前	2) Mon-39 液	茎葉処理	寒冷地以西.	一年生雑草.	耕起前40~20日.	㊥ml/a 25 ~ 75	全土壌.	1) 稀釈水量はできるだけ少ない量で茎葉によく付着するよう散布する. 2) 周辺の作物に飛散しないように注意する.
	3) OK-622 液	茎葉処理	寒冷地以西.	全 草 種.	耕起前20~7日.	㊥ml/a 30	全土壌.	1) 稀釈水量はできるだけ少ない量で茎葉によく付着するよう散布する. 2) 周辺の作物に飛散しないように注意する.
Ⅵ	1) DPA・MCP ・DCMU水和		連年休耕田 全域.	畑地, 水田一年 生イネ科及びイ	4月~9月.	㊥ g/a	全土壌.	1) 散布機で雑草及び 地表面が充分濡れる

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
VI 休 耕 田 (つづき)	1) DPA・MCP ・DCMU 水和 (つづき)	茎葉・土壌処理	隔年休耕田 全域。	ネ科、セリ科等 多年生雑草。	4月～7月。	100～ 150 (1～2回)		ように散布する。 2) a当り散布液量は 10～15 lとする。 3) 周辺の作物に飛散 しないように注意す る。
	3) Mon-39 液	茎葉処理	寒冷地以西。	一年生雑草、 イネ科多年生雑 草。	雑草生育初期。	④mL/a 一年生： 25～50 多年生： 75～ 100	全土壌。	1) 稀釈水量はできる だけ少なく茎葉に付 着するように散布す る。 2) 周辺の作物に飛散 しないように注意す る。

註： 1) アンダーライン(実線)は、本年度拡大された部分(なお、薬剤名のアンダーラインは、本年度はじめて
使用基準の作成されたもの)。

2) アンダーライン(点線)は、その一部が拡大されたもの。

昭和53年度畑作関係 除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和53年度畑作関係除草剤の適用性試験成績
中央検討会は、昭和53年12月14日、日本都市セ
ンター(東京)において開催した。その結果を、
ここに報告する。

本年度供試された畑作関係除草剤は、定性ス
クリーニング3剤、作用性試験11剤、適用性試
験46剤のべ試験件数 206 件(大豆60件、小豆9
件、菜豆15件、落花生20件、とうもろこし24件、

陸稻3件、さとうきび20件、ばれいしょ16件、
かんしょ8件、こんにゃく10件、てんさい21件)
であった。

適用性試験は、「実」、「実・継」、「継」、
「継?」、「中止」の5種類に判定されたが、
これらの結果は第1表の通りである。

さらに、実用化可能と判定された薬剤の使用
基準は第2表の通りである。

第1表 昭和53年度畑作関係除草剤適用性試験成績結果判定表

区分	実	実・継	継	継?	中止
1) 大豆	NP-48 (Na) 水容(単・ 体)、B-3015・P粒剤、 トリフルラリン粒剤、 HSW-761 水和剤、	SL-501 液剤(単・体)、 アミベン液剤、MB-206 粒剤、DAC-893 水和 剤、SKH-01 水和剤、	BI-883 乳剤、SL-521 水和剤、MS-76 水和剤、 KC-781 水和剤、トリフル ラリン乳剤+DNBP液剤		